

おかざき 議会だより

令和6年11月1日発行

vol.
224
2024

9月
定例会



おかざき未来“夢”プロジェクト 高校生と市議会議員の意見交換会
～愛知県立岡崎工科高等学校 編～

- P02 一般質問
- P09 高校生との意見交換会
- P10 主な議案
- P11 委員会審査
- P12 令和5年度決算審査
- P13 討論
- P14 審議結果
- P16 12月定例会予定 他

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問

9月定例会では、25人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目から掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像でご覧いただけます。

一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

杉浦 久直（自民清風会）

- ・ひとり暮らし高齢者
- ・上下水道事業

加藤 嘉哉（民政クラブ）

- ・脱炭素社会の実現
- ・病児保育

畑尻 宣長（公明党）

- ・市民後見人
- ・色覚に関する児童生徒への配慮

築瀬 太（自民清風会）

- ・上下水道局職員の災害時に備えた人事交流
- ・食文化条例の制定

野々山 雄一郎（自民清風会）

- ・包括連携協定
- ・スポーツによるまちづくり

中根 善明（無所属・日本共産党岡崎市議員）

- ・高齢者の移動手段の確保
- ・通学路の安全対策
- ・個人情報取扱い

柴田 敏光（民政クラブ）

- ・移住・定住
- ・廃止後の市営住宅

近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

- ・希望する誰もが保育園に預けられる市であるための取組
- ・阿知和地区工業団地
- ・ゼロカーボンに向けた取組

田口 正夫（無所属）

- ・矢作地区の道路整備
- ・児童育成センター

三塩 菜摘（無所属）

- ・教育現場の人員確保
- ・学校のICT教育

土谷 直樹（公明党）

- ・ドローン
- ・こどもの遊び場
- ・幼児への性教育

井町 圭孝（民政クラブ）

- ・こどもの遊び場
- ・幼児への性教育

鈴木 英樹（民政クラブ）

- ・公共施設等総合管理計画
- ・学区コミュニティにおける施設の在り方

前田 麗子（自民清風会）

- ・介護人材定着のための業務効率化
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

磯部 亮次（自民清風会）

- ・伝統産業
- ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

原 紀彦（民政クラブ）

- ・本市の水道水
- ・地域活動拠点施設（仮称）岩津ゼンター

杉山 智騎（チャレンジ岡崎）

- ・長期欠席者
- ・救急搬送

酒井 正一（自民清風会）

- ・岡崎城二の丸能楽堂

廣重 敦（自民清風会）

- ・水道水の利用促進
- ・自然共生サイト
- ・再生可能エネルギー

野島 さつき（公明党）

- ・ヤングケアラー支援の体制強化
- ・目標管理型災害対策本部体制

小田 高之（チャレンジ岡崎）

- ・障がい福祉サービス等事業者
- ・コンベンション施設整備事業
- ・食品営業許可証の背景デザイン

野本 篤（自民清風会）

- ・矢作川避難計画

鈴木 雅子（無所属・日本共産党岡崎市議員）

- ・開発行為の手続
- ・駅周辺の送迎自動車の待機場所

青山 晃子（チャレンジ岡崎）

- ・未就園児の預かり事業
- ・命を守る熱中症対策

柳 賢一（無所属）

- ・市民農園



(1) 独り暮らし高齢者見守り
(2) 上下水道広域化
杉浦 久直 (自民清風会)

問

(1) 独居高齢者の現状は。

答

民生委員の訪問による実態調査では、男性が2506人、女性が5377人である。

問

支援施策として水道スマートメーター活用の可能性は。

答

スマートメーターは使用水量を毎日1時間ごとに読み取ることが可能で、居住者の生活状況の見守りが可能と考えている。

問

(2) 県が推進する上下水道の一本化に向けた準備会へ、本市を除く西三河の各自治体が参画しているが、参加しないことにデメリットがあるのではないか。

答

市議会をはじめ住民を巻き込んだ議論が行われていない段階では、当面動向を見守りたい。

問

本市を除いた中で議論が進んでいるところに、後から何をきっかけにして加わることができると考えているのか。

答

デメリットはあるかもしれないが、慎重に判断したい。



病児保育
加藤 嘉哉 (民政クラブ)

問

病児保育と病後児保育の定義は。

答

病児保育とは病気の回復期に至らない場合かつ当面の症状の急変が認められない場合に、当該児童を病院、診療所、保育所等に付設された専用スペース又は専用施設で一時的に保育する事業である。病後児保育とは病気の回復期にある場合に、病児保育と同様に一時的に保育する事業である。

問

現在、市内で同事業を実施している施設の数は。

答

病児保育は民営で1カ所、病後児保育は公営で2カ所がある。

問

市民病院内で病児保育を実施する可能性は。

答

院内で病児保育を行うには、通常保育と隔離して行う保育室が必要になるが、病児保育を行うための隔離スペースを確保できないことから、現状では、実施は難しいと考えている。



(1) 市民後見人
(2) 色覚に関する児童生徒への配慮
埴見 宣久 (公明党)

問

(1) 市民後見人養成研修で身につけた知識を用いて、後見人以外でも活躍できる場があるとよいと考えるが、見解は。

答

市民後見人養成研修の修了者を対象とした調査によると、民生委員や児童委員、認知症サポートターなど、地域で幅広く活躍している。今後、認知症高齢者などが増える中で権利擁護支援策を充実させる必要があり、本市としても、研修修了者がその担い手として活躍できるよう、検討していく。

問

(2) 誰もが見やすい色遣いへの取り組みは。

答

本市では、誰にとっても見やすいフォントや判別しやすい色彩を採用した、ユニバーサルデザインへの配慮がされた教科書を採用している。小中学校では、通常より明るさや鮮やかさに差をつけることで色を識別できるように工夫されたチョークを使用するなど、色環境を整えている。



上下水道局職員による
災害時に備えた人事交流
染瀬 太 (自民清風会)

問

都市間協定により人材を共有し支え合うこと、つまり自治体間における職員派遣など、相互の支援体制は、大変重要と考える。今年度、上下水道局において組織重点目標に挙げた人事交流の内容と今後のスケジュールは。

答

能登半島地震において、多くの上下水道職員を派遣した経験から、まずは短期間での職員派遣から始め、地理的条件や施設、事業の概要、事業計画や設計、維持管理の手法、防災計画、災害対応など、お互いの上下水道事業全般を知り、そこから学んだ強みを生かし、弱みを補えるような職員を育てていきたい。人事交流がお互いにとって決して負担にならないように配慮し、常に顔の見える息の長い交流を目指している。現在、金沢市企業局と話を進めており、9月には上下水道局間で災害協定、人事交流等の覚書が締結できるよう、調整している。



(1)包括連携協定
(2)スポーツによるまちづくり
野々山 雄一郎（自民清風会）

問 (1)レンテック大敬と事業構
想大学院大学との協定及び名
鉄バスとの協定の内容と方向性は、

答 産官学連携による建福連携
の就労移行支援事業は全国初
の取り組みである。名鉄バスとの
協定では、公共交通の確保・維持
を見据え、全国初の外国人運転士
誕生に向けた支援を構築する岡崎
モデルを開始した。公民連携の包
括連携協定で地域経済の活性化や
発展的な未来への挑戦に努めたい。

問 (2)「する見る応援する」市
民誰もが参加できるスポーツ
によるまちづくりの今後の方向は、

答 大切なことは本市の強みを
生かす視点である。本市ゆか
りのアスリートの活躍を市民一丸
となって応援する、ゆかりのチー
ムの一流のプレーを楽しむ、更に
は選手による子どもたちへの指導
や地域貢献活動などが、地域や経
済の活性化につながり、本市のま
ちづくりに好循環を生むと考える。



通学路の安全対策
中根 善明（無所属 日本共産党
岡崎市議会）

問 直近3年間で、各学校から
の通学路の道路拡幅の要望件
数と、実現できた件数は、

答 令和3年からの3年間で4
件の要望があり、年度末には
要望に対しての回答を各学校に伝
達している。4件の要望に対して、
いずれも拡幅に至っていない。

問 根石小学校の通学路の横で
住宅開発が始まったが、開発
のタイミングで通学路の拡幅をし
てもらうことはできないのか。

答 法的に整備をする義務がな
い場合には、行政として強制
力を持った指導はできない。整備
の実現については事業者の協力に
委ねている。

問 常磐南小学校の南側にある
市道箱柳岩中線で通学路の歩
道整備が行われたが、経緯は、

答 同箇所は、2年連続して人
と車が絡む人身事故が発生し
ており、早急の安全対策が必要と
考え、4年度に歩道設置を行った。



本市への移住・定住
柴田 敏光（民政クラブ）

問 本市の工業団地の数は、
五つの工業団地に加え、阿
知和地区工業団地を現在造成
中で、進出企業の募集をしている。

答 阿知和地区工業団地で雇用
される従業員数の想定は、

問 工場誘致企業の社員移住推
進施策についての考えは、

答 約5千人と推定している。

問 本市と企業の双方が協力し、
従業員が長期的に定住できる
環境をつくるのが大切であり、
住宅やインフラの整備だけでなく、
移住後の生活の質を高めるための
コミュニティの形成やライフサポ
ートも重要と考える。

問 本市のシティプロモーション
施策の今後は、

答 岡崎で暮らし続ける、岡崎
を暮らす場所を選ぶ、いわゆ
る定住・移住を意識し、ターゲッ
ト別に必要な情報をしっかりと届
ける新たなシティプロモーション
を積極的に進めていく。



誰もが希望する保育園に
通える市であるために
近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

問 隣の園まで車で10分以上か
かる場合や自家用車を保有し
ていない場合は、容易に通える保
育園であるとはいえないと考える。
6年4月1日時点で、特定の園を
希望しているために保育園等を利用
できない児童の数が、昨年度の
10名から21名に増加しており、こ
れは同時点での待機児童数である、
19名を上回っているが、本市の考
えは、

答 特定の園を希望しているた
めに保育所を利用できない子
どもについては、保育所等利用待
機児童数調査要領において、待機
児童に含めないこととされている。
しかしながら、待機児童ではない
ものの、希望する園に入ることが
できない子どもになるため、本市
としても、待機児童解消の取り組
みを進める中で、併せて解消を目
指していくべきものであると認識
している。



矢作地区の道路整備

田口 正夫（無所属）

問 矢作川右岸南北道路の整備による効果は。

答 本事業は、矢作地区に不足する南北交通の強化を図ることとで、現在交通のネックとなっている、都市計画道路豊田西尾線と交差する国道1号の暮戸交差点や、都市計画道路名古屋岡崎線の岡崎大橋西交差点などでの交通渋滞の緩和が期待できる。

問 豊田西尾線の整備の現状は。

答 JR西岡崎駅の西側を走る県道岡崎環状線の富永町と新堀町の境界辺りから、県道安城幸田線の河野町西交差点までをつなぐ、約2・3キロメートルの区間が未整備となっている。令和3年度に現地測量を実施し、4年度から鉄道をまたぐ橋梁の設計及び道路設計などを行い、事業化に向けて関係機関との協議を進めるとともに、地域の総代やまちづくり委員会へ進捗状況の説明を行っている。と県から聞いている。



(1)教育現場の人員確保
(2)教員向けICT教育

三塩 菜摘（無所属）

問 (1)教員不足の対応における本市の取り組みは。

答 教員免許を有しながら一度も教壇に立つたことがない人などに向けた、本市独自のペーパーティーチャー相談会の開催や、県内の大学において教員志望の学生を対象としたガイダンスの実施、教員OBへの声掛け等を行っている。

問 (2)生成AIを活用した教員の仕事の効率化や授業の充実について、本市の現状は。

答 5年10月に「生成AIの教職員の利用に関する規約」を策定し、試験運用を開始した。校長の許可を得た教員が授業の準備を含む校務において利用できる。5年度は、246名の小中学校の教員が生成AIを利用している。メリットとデメリットの両方を考慮しながら、学校教育における生成AIの活用方法を探っていく。と考えている。



ドローンの利活用

土谷 直樹（公明党）

問 災害が多発化、激甚化する中で、消防団に求められる役割は多様化、複雑化している。総務省の消防団の力向上モデル事業では、ドローンの操縦技術を習得する取り組みに支援等を行っている。奈良市ではドローンによる情報収集部隊を創設し、上空からの確認により効果的に災害情報取得している。機体購入費、資格講習費用等は全額国費である。消防団にドローン隊を立ち上げることについて、本市の考えは。

答 本市では、中消防署本署と東消防署本署の指揮隊で、24時間365日のドローン運用が可能となる体制が取れており、指揮隊は消防団も含めた消防力全体を考慮し、活動方針を示すため、消防団にドローン隊を立ち上げることは、現時点では考えていない。今後、国や他の市町村の動向などを注視し、消防団連合会などに相談したいと考えている。



こどもの遊び場

井町 圭孝（民政クラブ）

問 こどもの遊び場として放課後に校庭を開放するための手段は。また、課題は何か。

答 学校施設を教育以外の目的に使用することは制限されており、校庭をこどもの遊び場として開放するには、目的外使用の許可を取得する必要がある。課題としては、不特定のこどもたちが自由に校庭を使用することになることから、このような使用を目的外使用の許可要件に適合させる事業等の在り方を整理することが必要と考えている。

問 放課後こども教室事業の環境で校庭を使うことは可能か。

答 安全安心に活動するため、こどもたちを見守る職員を増員するなどの必要はあるが、小学校の校庭で実施する場合は、こどもたちの自由な遊びだけでなく、地域ボランティアの人々との交流事業などでも利用することができると考えている。



(1) 公共施設等総合管理計画
(2) 学区コミュニティ施設
鈴木 英樹（民政クラブ）

問 (1) 令和9年3月の次期改定に向けた新たな取り組みは。

答 人口の減少見込みを反映し、施設の配置や規模の適正化など、投資対象の選択と集中を進める。保全については、経過年数や稼働時間など、時間を基準として行う「時間計画保全」と、時間と劣化状況の両面を基準として行う「状態監視保全」のいずれかを設定し管理する。また、施設総量縮減の対象を明確化し、課題整理や対応方法の検討及び協議を進める。

問 (2) 施設機能の統合に向けた取り組みは。

答 小学校を所管する教育委員会、学区こどもの家を所管することも育成課、学区のスポーツ事業を所管するスポーツ振興課等で協議を行う。その際、シミュレーションにより課題を明確にし、ルールづくりに取り組み、新たな公共施設サービスの在り方も踏まえ、前向きに検討を行っていく。



介護人材定着のための業務効率化
前田 麗子（自民清風会）

問 介護職の処遇改善として、書類の削減は大変効果があると考えます。介護の書類事務の効率化について、市としてできる取り組みがあるか。

答 記録の不備が直ちに報酬の減算につながるものについては、事業所においても、特に意識を高く持つてもらい必要があると考えています。事業所における日々の業務が大変であることは承知しているが、国からの事業所への指導監督に関する通知においても、事業所の負担が過度にならないように示されており、市もその考えにのっとり対応している。介護保険の制度上で求められる書類については削減することができないが、事業所の過度な負担になっている重要度の低い書類がある場合には、介護サービス事業者連絡協議会からの意見として受け止めながら、国に対する削減の要望も検討していく。



伝統産業
磯部 亮次（自民清風会）

問 包括連携協定を締結した八女市のように、伝統工芸館を造り、情報発信をしようか。

答 八女市の伝統工芸館では、非常に優れた展示がされており、大変感銘を受けた。田中吉政公によってまちづくりがなされたという同じルーツを持ち、江戸のふるさと、家康公のふるさとである本市としては、伝統産業の振興を使命の一つと感じている。八女市の常設の展示施設は、市民が自らの文化や歴史に誇りを持つための場となり、文化に対する理解と愛着を深め、地域コミュニティの結束も期待できるため、伝統工芸を大切に思う本市としても、お手本とできるような施設と考える。

本市に高度な技術を有する伝統工芸の職人が多数存在することを知ってもらい、伝統産業に親しめる仕組みを考える等、何らかの方法で伝統産業の支援をしていきたいと考えている。



地域活動拠点施設
（仮称）岩津センター
原 紀彦（民政クラブ）

問 市民からの要望はどの程度まで実現が可能か、本市の見解は。

答 勉強スペースについては、現在も市民センターや地域交流センターで活用しているため、実現可能と考えているが、遊園地やプール、映画館、書店の設置については、既に民間で市場が成立している機能の整備であるため、現時点では考えていない。

問 整備予定地は、バス停からも遠く、非常に利便性が悪い。交通アクセス整備について考えは。

答 拠点施設には、行政手続きを行う支所や地域福祉センターの福祉相談機能の集約を予定している。運転免許を返納した市民の利用も想定されるため、地域の特性や課題、施設を利用する人の移動ニーズを把握した上で、移動の足の確保については、必要に応じて、地域住民や施設の利用者とともに検討していく。



長期欠席者の
子どもたちへ
杉山 智騎（チャレンジ岡崎）

問 教育委員会の長期欠席者の子どもたちへの思いは。

答 「学校に行きたくない」「学校に行きたくても、行けない」という子どもを一人でも減らしたいという思いが教育委員会と現場の教師の共通の願いである。

今、本市の中学校で長期欠席生徒の増加が止まったことは、F組を運営する中で作り上げた様々な理念が、その学校の通常学級の先生や他の学校の先生へと伝わっていったおかげであると考えている。人を救うことができるのは制度そのものではなく、制度の運用者であり、運用者の人間性、人生観、人としての温かさが可能にするという金言を改めて実感する。今後とも悩んでいる子どもを含め、本市の全ての子どもが楽しく学校に通えるよう、現場の先生とともに、教師自身の力量の向上、F組・S組を含め、考えられるあらゆる努力を行っていく。



(1) 救急搬送
(2) 岡崎城二の丸能楽堂
酒井 正一（自民清風会）

問 (1) 救急搬送の件数が増加している中で、質と安全が担保された救急医療が大切と考えるが、実施していることは。

答 救急車を呼ぶべきか迷うときは、救急医療情報センター21-1133で医療機関を24時間365日案内することや、緊急度に応じて必要な対応が表示される全国版救急受診アプリ「Q助」を広報している。入庁2年目以降の消防職員に救急隊員資格を取得させ、救急出動に対応できる職員の増加により負担の分散化を図るほか、出動体制を維持したまま感染防止に配慮した上で、コンビニエンスストアでの飲料や軽食品の購入、トイレの使用を開始している。

問 (2) 能楽堂の雨天時の対応は。

答 今年度から指定管理者の提案により、2・4階四方のタ―プテント3基を、屋根がある客席の後方に設置し、雨天時に利用者が使用できるサービスを始めた。



水道水の利用促進
廣重 敦（自民清風会）

問 有収水量が年々減少し、水道事業の経営は苦しくなる一方だが、全市民が1人1日1トル、各家庭で今より多く水道水を利用した場合の給水収益への影響額は。

答 有収水量は年間で約14万立方メートルの増に、金額は税抜きで約1400万円の給水収益の増につながる。

問 多くの市民に水道水をもっと飲んでもらうために、現在取り組んでいることは何か。

答 水のある社会を未来へつなぐため、本市の主要水道水源である乙川の水源林の育成管理及びその大切さを伝える事業を「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」と称し、本市と、本市の水道事業に関係する社会貢献への意識の高い企業等と事業連携協定を締結し、水源周辺での間伐体験や清掃活動など、水源の保全に向けた取り組みを行っている。



目標管理型
災害対策本部体制
野島 さつき（公明党）

問 今年度から、災害時に目標管理型災害対応を導入したが、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表時に、どのような災害対応が行われたか。

答 災害対策本部員会議を緊急開催し、具体的な目標も含め、市長からチームリーダーを務める各部長級職員に指示をした。各チームは目標の達成に必要な状況分析を行い、情報不足から不安に感じる市民に向けて広報車を使ったパトロールを実施することや、スポットクーラーを使用して避難所の冷房に努めることなど、具体的な対応方法を決め、適切に実施した。目標管理型災害対応の導入後、初めての対応だったが、従来と比べて効率性と戦略性が向上したと感じている。今後、研修などを通じて職員一人ひとりが役割を再認識することで、更なる対応力の強化が期待でき、より効果的な災害対応が実現できると考えている。



**コンベンション施設
整備事業**
小田 高之（チャレンジ岡崎）

問 コンベンション施設整備事業でこれまでにどれほどの予算が執行されてきたのか。

答 コンベンション関連経費の決算額の合計は1億5473万9千円である。

問 今後、本整備事業をどのようにしていく予定か。

答 暫定整備による活用を行うことで、周辺で展開されている各種施策と合わせ、QURUWA戦略の一層の推進を図りたいと考えている。今後は、令和3年11月に公表した「太陽の城跡地の活用について（最終案）」、いわゆる市民の意見を再確認し、アップグレードされた案を基に、本案を公表してから、これまでに市内で実現された内容もあるため、いまだ一度整理をするともに、本市における宿泊需要や、市内企業のコンベンション需要も踏まえながら、再公募の時期を見極めたいと考えている。



矢作川避難計画の見直し
野本 篤（自民清風会）

問 矢作川避難計画の見直しの必要性について、有識者から聴取した意見の内容は。

答 特殊な避難情報では伝わりにくく避難行動に結び付かない恐れがあるため、「高齢者等避難」「避難指示」「緊急安全確保」など社会的に定着した用語を用いるとともに、早い段階での避難を促すよう「自主的広域避難の呼びかけ」をしていくことが妥当と考える。また、逃げ遅れをゼロにという目標は、理想的である一方で、実現可能性が低く現実的ではない。矢作川避難計画を発動せざるを得ない程の状況では、取り残される人は必ず発生するため、その想定と救出救助計画が必要であるとの意見があった。今後、大水害から住民の命を守るには、災害の発生前から避難を進める計画が不可欠であり、計画の改定に当たり、多くの意見を取り入れ、効果的に避難ができるように努めていく。



**JR岡崎駅・名鉄東岡崎
駅の送迎車の待機場所**
鈴木 雅子（無所属 日本共産党 岡崎市議団）

問 JR岡崎駅の東口ロータリーで、駅利用者の帰りを待つ車で渋滞している。石碑のある部分をカットすることで見通しが良くなると感じる。また、第2ロータリーに誘導する案内看板が不足していると考える。本市の見解は。

答 現在、シルバー人材センターを活用し、渋滞緩和の啓発活動を行っているが、中央帯の形状変更などについては、関係機関との協議や地下埋設物の調査を進めている。また、誘導する案内看板については、周辺道路に設置をしているが、今後も分かりやすい周知方法について検討していく。

問 名鉄東岡崎駅の南口に乗用車の乗降待機場所はあるのか。

答 南口ロータリーは主に公共的な交通機関の停留場所として整備運用されており、一般車の乗降場は十分に確保されていない。民間駐車場の利用や、北口の整備完了後は北口を利用してほしい。



命を守る熱中症対策
青山 晃子（チャレンジ岡崎）

問 熱中症特別警戒アラートの運用が開始されたが、目的は。

答 熱中症への警戒を促すことが目的である。暑さ指数が28を超えると熱中症患者の発生率が急増する。指針では、暑さ指数が31以上では、特別な場合を除いて運動は中止し、特に子どもの場合には中止すべきとされている。

問 学校での水分補給や水道水の扱いはどうなっているか。

答 水筒の水分が無くなった場合は、学校の中で安全に飲める水道水を飲用、補充している。

問 校舎の断熱化も効果があると考えますが、本市の考えは。

答 元年の全小中学校校舎への空調設備の設置の際に、遮熱対策として教室の南側の窓に遮熱カーテンを設置した。現在の校舎の大規模改修工事では、最上階の暑さ対策として、屋根に断熱材を施工する。全67校中2校で工事が完了し、2校で工事を進めている。



フェーズフリー（備えない防災）な市民農園

柳 賢一（無所属）

問 災害時にも市民農園は役立つと考えるが、本市の考えは。

答 市民自らが野菜などを作り、少しでも自給していくことは、平常時に限らず、災害時の備えとして有効であると考えている。

問 市民防災農地制度についての本市の考えは。

答 オープンスペースが不足する都市部において、農地は、震災時における災害の延焼防止、被災者への食料供給、避難場所等、防災上、重要な役割を有していることから、有効に活用できるような必要に応じた検討を行う。

問 市民農園の今後は。

答 本市は令和6年3月にオーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業実施計画を策定した。積極的に市民農園を増やし、市民の関心の高い有機栽培やICT技術を取り入れた市民農園など、市民が農の魅力を感じられる仕組みづくりに取り組んでいく。

おかざき未来“夢”プロジェクト 高校生と市議会議員の意見交換会 ～愛知県立岡崎工科高等学校 編～

未来を担う高校生に議会や市議会議員を身近に感じてもらうため、7月22日（月）に、愛知県立岡崎工科高等学校の生徒たちと意見交換会を行いました。本市議会では、平成30年度から市内の大学と連携し、大学生との意見交換会を4回実施してきており、これに引き続き、令和5年度から高校生との意見交換会を実施しています。高校生ならではの視点から意見を聴くことができる貴重な機会となりました。



学校紹介

生徒の代表者が、学科や部活動、特色ある取り組みについて、議場で発表を行いました。



意見交換

高校生4～6人と市議会議員2人が一つのグループとなり、高校生から寄せられた興味・関心が高い「高校生の医療費無償化と熱中症対策」「観光地を増やしたい」「SDGsの観点から岡崎市をみる」「道路、公共交通機関」の四つのテーマについて話し合いました。

発表

意見交換会の結果をまとめ、生徒の皆さんが発表を行いました。

生徒の感想

- ・最初は緊張気味だったが、議員さんがフレンドリーに接してくれたので、すごくやりやすかった。
- ・自分とは違う発想の意見を聞き、別視点での考えを持てた。
- ・今できることだけでなく、未来にできることも考えることができ、自分の発想が広がった。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、14ページに掲載しています。

条例議案

■徳川家康公顕彰条例の制定／徳川家康公の顕彰に係る取組を通じ、希望と活力に満ちた愛される都市を実現するため、当該顕彰の基本理念、市の役割等を定める。

■市長の退職手当の特例に関する条例の制定／市長の退職手当を支給しないこととする。

■個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正／日常生活上の支障がある高齢者を対象にした補聴器購入費の補助に関する事業を実施するに当たり、申請者が所得証明書等の提出を省略できるようにするため、番号利用事務の範囲を見直す。

■子ども医療費助成条例の一部改正／子育て世代の経済的な負担

軽減と子どもの健康を確保すること、安心して子どもを産み育てることができ環境づくりを推進するため、現在中学生までとしている通院に係る医療費助成の対象者を、高校生世代までに拡大する。

その他議案

（災害対応特殊消防ポンプ自動車）の買入れを行う。

補正予算議案

■一般会計補正予算（第3号）

○総務費／企業版ふるさと納税地方創生基金積立金、工作物修繕料（地域情報通信基盤管理事業）など約1336万円の増

○民生費／後期高齢者医療療養給付費負担金、児童発達支援センター機能強化委託料など約9879万円の増

○衛生費／病院群輪番制病院施設等整備費補助金、省エネ家電製品設置費補助金、自動車等賃借料（地域脱炭素移行推進事業）など約7626万円の増

○農林業費／あいち型産地パワーアップ事業費補助金など4615万円の増

○土木費／工事規制広報負担金（スマートインターチェンジ整備事業）、次世代モビリティ活用委託料、東公園動物園管理運営事業費、中央総合公園整備工事請負費、さくらの名所づくり

推進事業費など約1億4824万円の増

○教育費／契約等支援委託料（中学校屋内運動場改修事業）など2391万円の増

■介護保険特別会計補正予算（第1号）／介護予防・生活支援サービス委託料、介護給付費準備基金積立金など約4億241万円の増

令和6年度9月補正予算

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,459億6,436万円	4億1,771万円	1,463億8,207万円
特別会計	744億1,084万円	4億3,984万円	748億5,068万円
企業会計	658億8,228万円	4,678万円	659億2,906万円
合計	2,862億5,748万円	9億433万円	2,871億6,180万円

※金額については、表示単位未満を四捨五入しているため、差し引きが一致しない場合があります。

委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

徳川家康公顕彰条例の制定

問 本条例の制定の経緯は。

答 大河ドラマを通じて、本市が徳川家康公の生誕地として全国に印象づけられたが、大河ドラマが終了した後も、家康公とゆかりの深いレガシーを生かしていく検討を進めてきた。その結果、家康公や三河武士の偉業、功績を後世に伝え、家康公ゆかりの歴史文化資産の保存、活用、情報発信をたゆまず続けることで、市民のシビックプライドを高め、地域活性化につなげることを、まちづくりの基本姿勢として、市民の総意で示すために本条例が必要であるとの考えに至った。

福祉病院委員会

子ども医療費助成条例の一部改正

問 条例を改正する目的と施行日を令和8年1月1日とした理由は。また、医療費助成の影響額と、増額分の財源を確保できるのか。

答 高校生世代の医療費については、2年9月から入院費の助成を開始しているが、子育て世代への経済的な負担軽減策として、今回の条例改正により、通院費まで助成を拡大するものである。システムの改修、受給者証の申請や交付、関係機関との調整や制度の周知などを行い、円滑に実施できる時期が8年1月1日と判断したためである。影響額については、8年度以降は、毎年度約3億8千万円の増額を見込んでいる。この増額に対して国や県の補助金があるわけではなく、全額が市費による負担となるため、現時点で財源の確保ができていない状況ではない。

文教経済委員会

幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正、児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正及び幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

問 条例改正に至った経緯は。

答 5年12月に閣議決定された、こども未来戦略において、制度の発足以来、75年間、一度も改善されてこなかった4歳児、5歳児の職員配置基準について改善を図ることになり、併せて、3歳児の職員配置基準についても見直すことになった。こども未来戦略において、安心して子どもを預けられる体制整備が必要と明記されており、保育者が今以上に、子ども一人ひとりを見ることができるとして整備が求められていることなどが背景にあると認識している。

建設環境委員会

工事請負の契約（中央総合公園総合体育館改修工事）及び工事請負の契約（中央総合公園総合体育館電気設備改修工事）

問 工事の内容と施設利用者への影響、またバリアフリー化の概要は。

答 愛知・名古屋アジア・アジアパラス競技大会のバレーボール会場となる中央総合公園総合体育館を、大会運営に求められる要件に整えるために行う施設改修と、それに関連する電気設備の改修工事である。改修工事中の施設が利用できない期間は、体育館が6年12月2日から7年6月27日までを予定している。バリアフリー化工事の内容は、2階観客席の一部を車椅子使用者用の席へ改修するほか、2階観客席の授乳室の増設、エントランスホールの大階段への中央手すりの設置、エントランスの外部スロープへの手すりの設置等を行うものである。

令和5年度決算審査

予算決算委員会を開催し、5年度決算議案に対する質疑を行いました。詳しい内容や他の質疑については市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

予算決算委員会 総務企画分科会

総務費

問 市政だより発行業務について、市民からの意見等の概要と反映した内容は。

答 市政だよりへの意見や要望の主な内容として、お出かけスポットやグルメ、スイーツに関する情報のほか、子育てや防災に関する情報を希望する声が多く寄せられた。意見等を反映し、6年1月号から魅力発信コーナーを新設し、若者目線による市内のお出かけスポットやグルメ、スイーツ情報などを掲載するとともに、パママ&ベビーコーナーや特集ページなどのジャンル別コーナーにおいて、子育てや防災などに関する情報を始め、市民の求める情報の提供に取り組んだ。

予算決算委員会 福祉病院分科会

衛生費

問 带状疱疹^{そうとん}予防接種補助金について、ワクチンの接種比率とその結果に対する分析は。

答 5年7月から接種費用の助成を開始した带状疱疹予防接種は、生ワクチン及び不活化ワクチンの2種類を助成の対象とした。両ワクチンの1回目の接種を合計した被接種者数は7395人で、接種割合は約1対9と不活化ワクチンを接種した人が圧倒的に多い結果となった。带状疱疹の予防接種に関する市民の意識は行政が考えている以上に高く、自己負担額が高くても発症抑制効果やワクチンの持続効果が高いとされる不活化ワクチンの選択が多いことから、発症のリスクを警戒している人が多いと分析している。

予算決算委員会 文教経済分科会

農林業費

問 「どうするNABEー1岡崎城グランブリッー一万人鍋」の事業効果は。

答 市内産農林産物への愛着や理解を深めるため、地消地産や食育を実践するイベントとして開催し、提供された鍋は予選、決勝を合わせて2万791杯となった。食材は、地元の食材である岡崎おうはん、竹千代ポーク、有機ニンジンを始め様々で、バラエティーに富み、イベントに合わせて、あいちの伝統野菜である法性寺ねぎを市内の小中学校20校に有機栽培してもらい、食材として活用するなど、地消地産や多様な主体が参加する仕掛けづくりも行った。これにより、岡崎城、大河ドラマ館への観光客や市民に対して、岡崎の農林産物の魅力を伝えることができたほか、シビックプライドの醸成にもつながった。

予算決算委員会 建設環境分科会

衛生費

問 粗大ごみ収集管理システムの利用状況と課題は。

答 本システムによるスマートフォンやパソコンを使用したウェブ上での粗大ごみ戸別収集の予約が6年4月から開始され、全予約の約3割がウェブによる予約となっている。このシステムでは、地図上で最も効率的となる収集ルートが自動的に作成され、収集ルートの行程が可視化できるようになり、収集員のルートの把握が容易となる。これまでは、収集員が自ら収集箇所を地図上に落とし込み、ルートの作成を行っていたが、その作業時間が大幅に短縮された。一方で、システムにより作成された収集ルートでは、道路幅員などの細かな道路状況が考慮されておらず、収集員の長年の知識や経験による臨機応変な対応も必要となっている。

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長の退職手当の特例に関する条例の制定

自明清風会

「中枢中核都市の市長として重責を4年間務めてきたのであり、退職手当は受け取るべきである。市のためにということであれば、まずは退職手当を受け取り、退任した後、目的を示して市に使用してほしいと寄附するのが最善ではないかと考える」と意見を述べ、反対した。

民政クラブ

「個人としての意思を実現するのであれば、市長退任後に寄附をすることが適切な対応である。また、制度の在り方を論議するのであれば、特別職報酬等審議会のような第三者機関において論議をしていく必要があると考える」と意見を述べ、反対した。

チャレンジ岡崎

「退職金の性格から見ても、受け取ることは妥当と考える。また、今回限りの特例とはいえ、次回以降にも影響を与えることもある。報酬については審議会があり、先に審議、答申の場所を設けるべきである」と意見を述べ、反対した。

公明党

「将来、有為な人材が職を賭して市長への立候補を志してもらっためにも、支給しないと定めるよりも、退任後に全額を寄附する考えもある」と意見を述べ、反対した。

無所属・日本共産党岡崎市議会

「退職金の廃止は市長の公約であり、特別職の手当については、最終的には市民の審判を受けなければ」と意見を述べ、賛成した。

無所属・大原昌幸

「本市の支出が減り、市民にとって必要な他の事業の財源として使用していくことができる」と意見を述べ、賛成した。

子ども医療費助成条例の一部改正

自明清風会

「子ども医療費助成の拡充は以前

から予算要望しているものであるが、弾力性を失いつつある財政状況に鑑みると、恒久的な固定費の増額を考えるに当たり、全体予算を見ながら他の事業を考慮して、執行の必要性を慎重かつ適正に審議すべきと考える。令和7年度の当初予算で議案を上程し、8年1月1日の施行が実現するよう、この先の議会につなげていくべきと考える」と意見を述べ、反対した。

民政クラブ

「8年度以降の継続的に必要となる約3億8千万円の経費の財源が、現段階では確保されていないことが確認できた。将来の財政負担等も懸念されることから、慎重に検討し、既存事業の見直しや優先順位付けによる事業の取捨選択を行うこと、更なる歳入の確保に努めることなど、まずは財源を確保すべきである」と意見を述べ、反対した。

チャレンジ岡崎

「高校生年齢までの医療費助成に關して、方向性については賛同するが、委員会での質疑において財

源が確保されていないことが確認された。財源が確保されていないということでは継続可能な制度とは言えず、持続可能な制度の実施を求める」と意見を述べ、反対した。

公明党

「執行するに当たり重要となる財源の確保ができていない状況を確認し、継続性に不安が残る。新年度予算で継続性の不安を払拭し、再度審議できる形で示されることを強く要望する」と意見を述べ、反対した。

無所属・日本共産党岡崎市議会

「全ての議員が要望しているのであれば、一旦は可決をし、どうしても財源が確保できるのかを検討すべきである。施行にめどが立たなければ、施行日を延長する条例改正議案を議員提案で提出すればよい」と意見を述べ、賛成した。

無所属・大原昌幸

「他の事業の支出を削減しながら、少子化対策、人口減少対策としても、様々な育児支援と相乗効果を生み出すためにも必要と考える」と意見を述べ、賛成した。

審議結果

9月定例会

件名			採決等の結果	件名			採決等の結果
市長提出議案				市99	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決(全員)	
認1	令和5年度一般・特別会計の決算の認定	認定(多数)	市100	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）			
認2	令和5年度病院事業会計の決算の認定	認定(全員)	市101	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）			
認3	令和5年度水道事業会計の利益の処分及び決算の認定	可決・認定(全員)	市102	令和6年度こども発達医療センター特別会計補正予算（第1号）			
認4	令和5年度下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定	可決・認定(多数)	市103	令和6年度病院事業会計補正予算（第1号）			
市78	工事請負の契約（美術博物館改修工事（第2期）（週休2日））	可決(全員)	市104	令和6年度水道事業会計補正予算（第1号）			
市79	工場請負の契約（地域文化広場大屋根設置工事（週休2日））		市105	工事請負の契約（中央総合公園多目的広場改修工事（週休2日））			
市80	工事請負の契約（福岡南保育園改築工事（週休2日））		市106	国民健康保険条例の一部改正			
市81	工事請負の契約（中央総合公園総合体育館改修工事）		市107	工事請負の契約（美合小学校南棟大規模改修工事）			
市82	工事請負の契約（中央総合公園総合体育館電気設備改修工事）		市108	令和6年度一般会計補正予算（第4号）			
市83	物品の取得（災害対応特殊消防ポンプ自動車）		同2	固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意(全員)		
市84	工事請負の契約（根石小学校北棟大規模改修工事）		同3	監査委員の選任			
市85	工事請負の契約（根石小学校北棟大規模改修給排水衛生設備工事）		同4	教育委員会の委員の任命			
市86	工事請負の契約（根石小学校北棟大規模改修電気設備工事）		同5	宮崎財産区管理会の委員の選任			
市87	工事請負の契約（矢作中学校北棟大規模改修工事）			同6	形埜財産区管理会の委員の選任		
市88	徳川家康公顕彰条例の制定	可決(多数)	議員提出議案				
市89	市長の退職手当の特例に関する条例の制定	否決(多数)	議2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	可決(全員)		
市90	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決(多数)	議3	再審法改正を求める意見書の提出			
市91	子ども医療費助成条例の一部改正	否決(多数)	議4	「子ども医療費助成条例の一部改正」に対する要望決議	可決(多数)		
市92	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	可決(多数)	請願				
市93	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正	可決(全員)	請2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	採択(全員)		
市94	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正		請3	再審法改正を求める意見書の提出			
市95	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正		※採決等の結果が分かれたものの詳細は、次ページの議案の賛否一覧表をご覧ください。				
市96	都市公園条例の一部改正		件名				
市97	病院事業の料金に関する条例等の一部改正	可決(多数)	陳情				
市98	令和6年度一般会計補正予算（第3号）		陳9	私立高校生の保護者の授業料負担の公私格差を是正するために岡崎市授業料補助金制度の充実を求めること			
			陳10	「新型コロナワクチン健康被害の実態と次世代型コロナmRNAワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知」と「mRNAワクチン定期接種中止を求める意見書」の提出			
				※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。			

議案の賛否一覧表

賛成・反対の双方があった議案について表示しています。(○：賛成、×：反対)

議案	会派名 議員名	自民清風会												民政クラブ					チャレンジ岡崎	公明党	無・共	無所属			議	副											
		磯部 亮次	荻野 秀範	加藤 義幸	酒井 正一	杉浦 久直	鈴木 静男	中根 武彦	野々山雄一郎	野本 篤	蜂須賀喜久好	原田 範次	廣重 敦	前田 麗子	築瀬 太	井町 圭孝	加藤 学	加藤 嘉哉	佐藤 哲朗	柴田 敏光	鈴木 英樹	原 紀彦	三宅 健司	青山 晃子	小田 高之	近藤 敏浩	杉山 智騎	土谷 直樹	野島さつき	畑尻 宣長	鈴木 雅子	中根 善明	大原 昌幸	田口 正夫	三塩 菜摘	柳 賢一	小木曾智洋
認1、4、 市90、92、 97、98、議4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/	○	○	—	○
市88		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	—	○
市89、91		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	/	×	○	—	×	

※会派の名称：議＝議長、副＝副議長、無・共＝無所属・日本共産党

※議長は議決に加わらないため「—」と表示しています。また、欠席者は「/」と表示しています。

こどもまんなか社会の実現に向け、行政及び議会だけでなく、地域や学校、民間事業者なども含め、市全体で取り組んでいく姿勢や、子ども・若者の視点・意見を尊重し、共に成長しながら、その実現を目指すことを示すため、市長と議長の連名で都市宣言を表明しました。

都 市 宣 言

『こどもまんなか おかざき ～はばたく夢 こどもとともに育つまち～』

豊かな水環境と自然環境に恵まれ、徳川家康公が生まれた歴史あるこのまちで、全ての子どもや若者が身体的・精神的・社会的に満たされ、幸せな生活を送ることができることは、わたしたちみんなの願いです。

岡崎市は令和5年8月に、こども家庭庁が提唱する「こどもたちのために何がもっともよいことを常に考えこどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する」というこどもまんなかの趣旨に賛同し、その取組みを応援し、自らも行動する「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言し、市としてこどもまんなかに取り組む姿勢を示しました。

こどもまんなか社会の実現は、こどもや若者が生まれ育った環境に左右されることなく、その存在を大切なものとして扱われ、自分らしく生き、未来を担う人材を社会全体で育むことで、こどもや若者はもちろん、多くの人が将来にわたり幸せな生活を送ることにつながります。

そのためには、行政だけではなく、家庭や地域、学校、事業者等が一体となり、社会のあらゆる分野における全ての市民一人一人が、こどもまんなかに取り組んでいくことが必要です。

こどもや若者は、将来の担い手であるとともに、今を生きる市民であり、ともに社会を創るパートナーです。こどもや若者の視点を尊重し、その意見を聴き、ともに成長し、こどもや若者が自らの将来に夢や希望を持てる社会づくりをするため、ここに「こどもまんなか おかざき」を宣言します。

令和6年9月13日

岡 崎 市 長 中 根 康 浩
岡崎市議会議員 小木曾 智 洋

本市議会では、高校生世代の医療費の助成を通院費まで拡大させる議案について、財源を十分精査し、持続可能な制度としたうえで、必要な予算を計上し、再度提出することを求める要望決議案を本会議において提出し、可決しました。

本会議終了後、市議会から市長に要望書を提出しました。

「岡崎市子ども医療費助成条例の一部改正について」に対する要望決議

令和6年9月定例会において、上記議案について本市議会は委員会付託し、慎重かつ適正に審議を行ったところである。

結果、本日の本会議において、第91号議案「岡崎市子ども医療費助成条例の一部改正について」は、否決されたところである。

しかし、否決理由は、医療費助成の実施自体を否定するものではなく、財源が確保されていないことによる継続性への不安である。本市では、人件費や扶助費などの義務的経費の大幅な増加に加え、インフラの整備や未来投資計画事業などの経費も増加となる計画で、これまで以上に厳しい財政状況が継続することが見込まれている。こうした状況下において、継続的な財源を確保することなく事業の実施について審議することは、市議会としての議決責任が果たせない。

よって、市長及び執行部においては、今期定例会における議会からの意見を真摯に受け止め、財源を十分に精査し、持続可能な制度とした上で、令和7年3月定例会において、必要な予算を計上し、再度本議案を提出することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年9月13日

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

◎提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

●再審法改正を求める意見書

◎提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣

12月定例会予定

12月定例会の
請願・陳情提出締め切りは、

11月18日(月)
17時15分

です。

月	火	水	木	金	土	日
12/2 開会、市長提案説明、議案説明、一般質問	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 議案質疑、委員会付託 予算決算委員会	7	8
9	10	11	12 予算決算委員会 各分科会・ 常任委員会	13 予算決算委員会 各分科会・ 常任委員会	14	15
議案検討						
16	17 予算決算委員会	18 議会運営委員会	19	20 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	21	22

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（開催順序などは11月20日に決定）です。

12月定例会の日程について 上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

議会中継について 議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



本紙は9月定例会の内容をお届けしていますので、会派名は当時の内容で記載しています。なお、10月6日の市議会議員選挙による新しい議員の顔触れや、委員会及び会派への所属状況は、次号でお知らせします。

（最新の情報は岡崎市議会ホームページでもご確認ください）

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6971・FAX23-6538)までお問い合わせください。